

# Agilent microarray マルチプレックスアレイ 操作上の注意点



ここでは、Agilentのマルチプレックスアレイ(1スライドに複数のアレイが乗ったフォーマット)での注意点をピックアップします。**実験操作の詳細は、必ずプロトコルをご参照下さい。**

すべての操作は**水平な台の上**で行って下さい。**傾いた実験台・冊子の上**などで操作しないで下さい。

2009年2月版

# ハイブリダイゼーション溶液の調製

## 注意1

フォーマットによって  
サンプル・試薬の  
必要量が異なります

例) 遺伝子発現アレイ

## アプライするボリューム

マイクロアレイフォーマット	ハイブリダイゼーション液量 (1アレイあたり)
8x15K	40 uL
4x44K	100 uL
2x105K	245 uL
1x244K	490 uL

## 1色法

マイクロアレイフォーマット	8x15K	4x44K	2x105K	1x244K
リニア増幅Cyanine 3 ラベル化 cRNA	0.6 ug	1.65 ug	1.5 ug	1.5 ug
10x Blocking Agent	5 uL	11 uL	25 uL	50 uL
ヌクリアーゼフリー水	適量	適量	適量	適量
25x Fragmentation Buffer	1 uL	2.2 uL	5 uL	10 uL
<b>最終量</b>	<b>25 uL</b>	<b>55 uL</b>	<b>125 uL</b>	<b>250 uL</b>

## 2色法

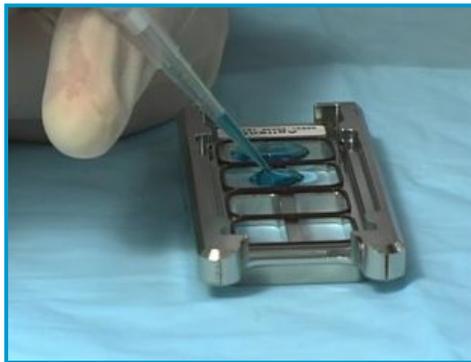
マイクロアレイフォーマット	8x15K	4x44K	2x105K	1x244K
リニア増幅Cyanine 3 ラベル化 cRNA	0.3 ug	0.825 ug	0.75 ug	0.75 ug
リニア増幅Cyanine 5 ラベル化cRNA	0.3 ug	0.825 ug	0.75 ug	0.75 ug
10x Blocking Agent	5 uL	11 uL	25 uL	50 uL
ヌクリアーゼフリー水	適量	適量	適量	適量
25 × Fragmentation Buffer	1 uL	2.2 uL	5 uL	10 uL
<b>最終量</b>	<b>25 uL</b>	<b>55 uL</b>	<b>125 uL</b>	<b>250 uL</b>



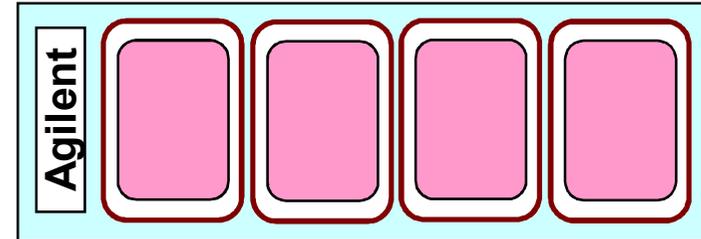
# ハイブリダイゼーション溶液のガスケットスライドへのアプライ

## 注意2

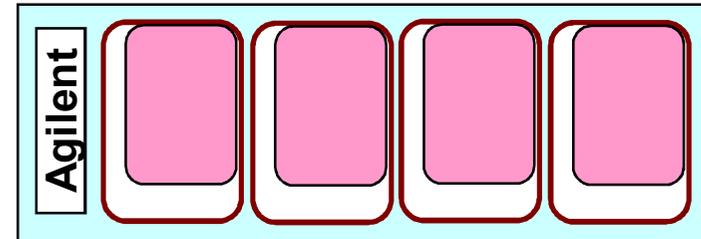
液がガスケットのふちに  
触れないように、  
かつ全ての区画で  
液面の高さが揃うように  
アプライして下さい



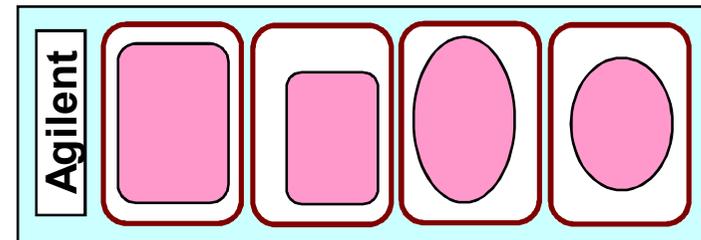
GOOD



NG



NG



## Point

ピペットチップでハイブリ溶液を  
均等に伸ばすようにすると  
液面の高さが揃いやすくなります



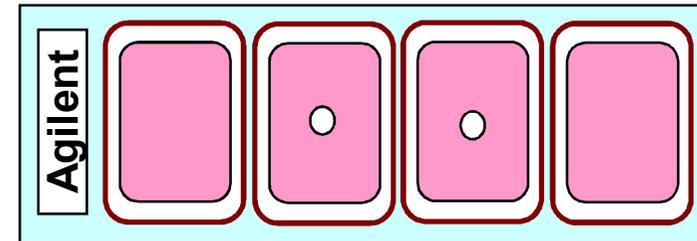
Agilent Technologies

# ハイブリダイゼーション溶液のガasketスライドへのアプライ

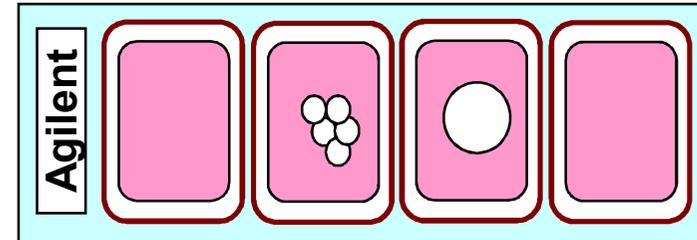
## 注意3

大きな気泡を導入しないように  
ご注意ください

OK



NG



## Point

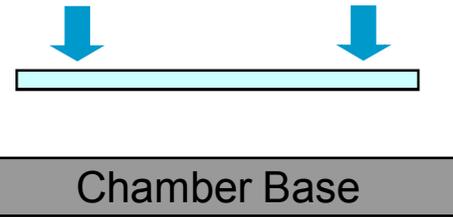
ピペッターを最後まで押し切ると、大きな気泡が導入されやすくなります。気泡が入っても問題はありませんが、大きすぎるとアレイを乗せた際に泡が液を押し、液漏れの原因となります

# アレイのハイブリチャンバーへのセット

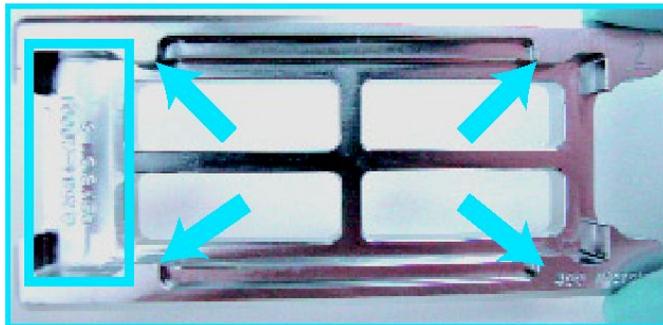
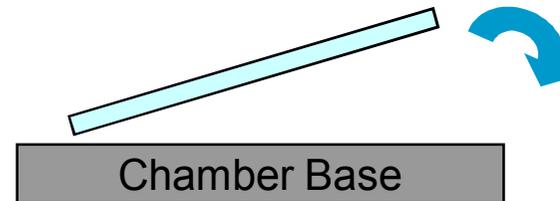
## 注意4

アレイのライドガラスをなるべく水平に保ったまま、ゆっくり下ろして下さい

GOOD



NG



## Point

アレイを液に接触させる前に、チャンバーベースの四隅にアレイのライドガラスが正しくフィットしていることを確認すると確実です

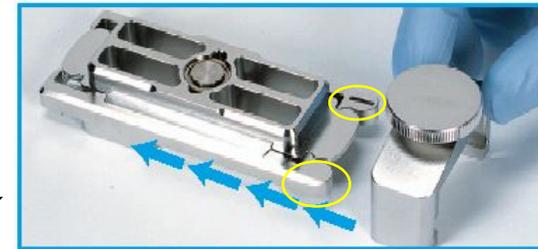


## アレイスライドを乗せた後

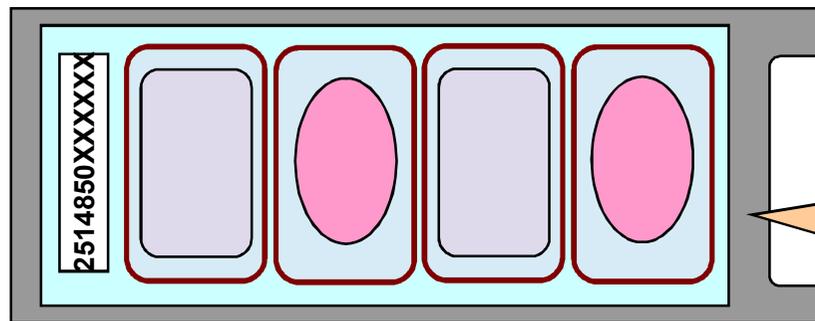
### 注意5

アレイスライドを一旦乗せたら、絶対に持ち上げたりずらしたりしないで下さい。  
速やかにチャンバーカバーを乗せ、クランプアッセンブリを締めて下さい

スライドは動かさない!



OK



### Point

スライドを乗せた直後、液が接しているアレイと浮いているアレイがあるように見えても問題ありません。すぐにカバーを乗せて下さい



Agilent Technologies